

いずもぎき

議会だより

第93号
2016 平成28年10月20日



9月定例会

もくじ

平成27年度決算認定	2	議会モニター委嘱式	9
平成27年度主な事業	4	10月臨時会	10
決算審査特別委員会	5	一般質問(4人が町政をたぐす)	11
9月定例会	6	田中政孝議員表彰	15
補正予算質疑・議会の動き	7	出まえ議会のお知らせ	15
全員協議会	8	町民の声(「心」を変える力)	16

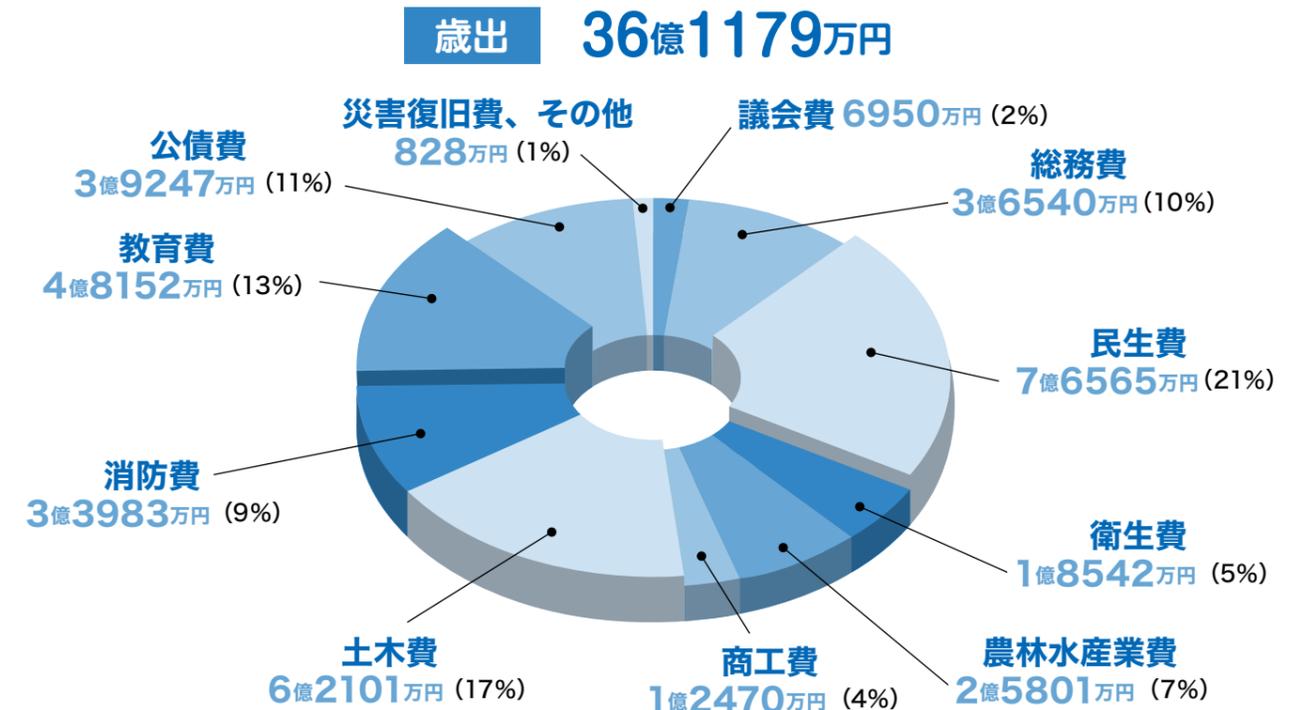
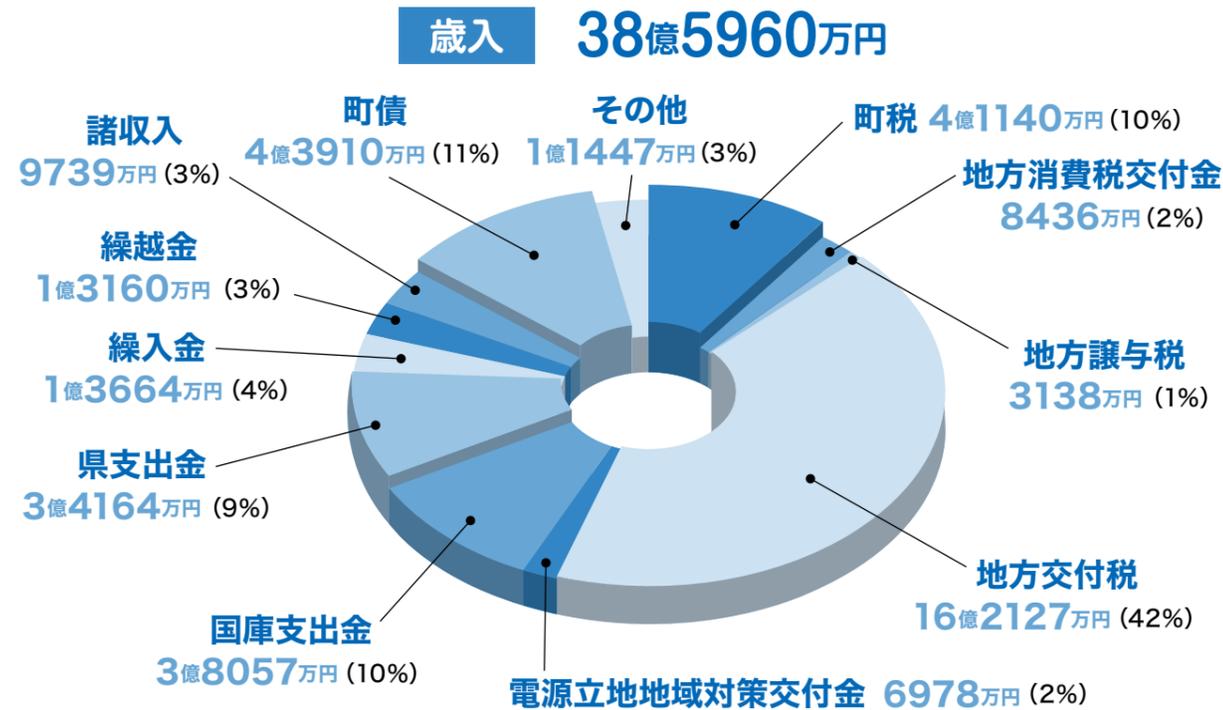
平成27年度決算認定

一般会計並びに特別8会計の決算は

歳入 一般会計 38億5960万円 特別会計 19億4335万円 総額 58億 295万円 (前年比 1億9373万円増)

歳出 一般会計 36億1179万円 特別会計 18億6068万円 総額 54億7247万円 (前年比 9925万円増)

一般会計決算の状況



各会計の決算状況

会計名	決算		差引残高
	歳入	歳出	
一般会計	38億5960万円	36億1179万円	2億4781万円
特別会計			
国民健康保険	6億5961万円	6億1599万円	4361万円
介護保険	6億8902万円	6億7554万円	1342万円
後期高齢者	5457万円	5427万円	29万円
簡易水道	1億8353万円	1億7615万円	738万円
特定地域生活排水	1717万円	1651万円	66万円
農業集落排水	1億3789万円	1億3153万円	636万円
下水道	1億8458万円	1億7486万円	972万円
宅地造成	1694万円	1580万円	114万円
合計	58億 295万円	54億7247万円	3億3048万円

金額は千円以下を切り捨てて表示

●町債(借金)と基金(貯金)の状況 (万円未満切り捨て) 平成28年3月末人口: 4668人

27年度末・一般会計分

<p>町債 (借金)</p> <p>37億6517万円</p> <p>町民1人あたり 約80万円</p>	<p>基金 (貯金)</p> <p>23億4669万円</p> <p>町民1人あたり 約50万円</p>
---	---

平成27年度 主な事業

商工観光関係

プレミアム商品券発行事業補助金	912万円
心月輪厨房改修工事	648万円
きずな実行委員会負担金	930万円



きずな



心月輪



プレミアム商品券

消防関係

出雲崎町消防分遣所建設工事
1億4928万円



消防分遣所

教育関係

小学校体育館照明等落下防止工事 6754万円
中学校校舎・体育館外壁等改修工事 5000万円



照明等落下防止工事 (小学校体育館)



中学校外壁 (工事前)

民生関係

高齢者福祉タクシー利用助成事業 614万円
臨時福祉給付金 637万円



福祉タクシー券の利用

土木関係

道路新設改良舗装工事 1億6241万円
町営集合住宅建設工事 1億2155万円



道路新設改良舗装 (川西)



川西ひまわりハウス

ここが
聞きたい!!



三輪 正 委員長

決算審査特別委員会

平成27年度一般会計・特別会計決算は決算審査特別委員会に付託して審議し次の意見を付して全会一致で認定されました。

主な意見

良寛記念館の入館者増加を図るため、記念館内トイレの設置とバリアフリーの早急な整備を求める。

出雲崎宝もの新発見事業の利活用を積極的に行うことを求める。

昨年も意見を上げたが、改善が全くされていない出雲崎小・中学校のパソコン借上げ方法と経費について、見直しと改善を求める。

出雲崎に来た東京芸術大学院生の卒業後の活躍状況と、出雲崎街並スケッチ画集 第3集の発行を求める。

消防ホースなど備品の入れ替え等管理の徹底を求める。



CKD事業は、開始以来5年が経過していて効果が出ていると感じる。引き続き町民の健康維持に、取り組んでいくよう求める。

汐風ドリームカーニバルや、きずなのようなイベントに頼らず、町にある観光資源を活かした立町を進めていくよう求める。

心月輪の運営について、改修工事等で多額の予算を支出している。今後の経営状況を注視していくよう求める。

出雲崎町の紹介ビデオを制作しているが、配布先を含め有効活用していくよう求める。

釜谷梅団地に関する補助金では、補助金だけではなく、担い手の確保や商品の開発、販売等にも力を入れていくよう求める。

ふるさと就職支援 商品券利用助成金に120万円 新生活スーパー住まい取得・ リフォーム支援補助金に360万円補正

会 計		補正額	補正後の予算額
一	般 会 計	6330万円	34億 737万円
特 別 会 計	国民健康保険事業	543万円	6億3532万円
	介護保険事業	3437万円	7億 485万円
	簡易水道事業	50万円	1億6958万円
	住宅用地造成事業	289万円	5496万円

主な歳入

- 地方交付税追加2947万円
- 防災・安全交付金追加.....387万円
- 地方創生推進交付金.....135万円
- ※3 観光費寄附金.....500万円
- 前年度繰越金追加2813万円

主な歳出

- ※1 町有物件解体工事.....384万円
- 橋りょう維持修繕工事追加1100万円
- 河川改修工事.....650万円
- ※2 スキーリフト使用料.....12万円
- レンタルスキー使用料.....15万円

教えて 定 例 会



※1

町有建物解体工事って何？

羽黒町2区と尼瀬3区にある
建物を解体するんだよ



※2

スキーリフト・レンタルスキーの
使用料って何？

小学生のスキー授業が4～6年生
を対象に行われるんだ
県からお金が出るんだよ



※3

観光費寄附金って何？

出雲崎出身の方から観光に役立てて
欲しいと寄附をいただいたんだよ



案
件

人
事

教育委員会委員の選任に同意

村 越 隆 夫 氏 (住吉町)
内 山 才 子 氏 (吉水)

(平成28年10月27日から3年間)

ここが聞きたい!!

9月12日

補正予算質疑

主な質疑内容を掲載します。

良寛アニメーション制作委託料

270万円

中野議員 数年前テレビで良寛様のアニメを放映しているが承知しているか。また、それを借りるという考えはないか。

教育課長 長岡広域の自治体で行う地方創生広域事業で良寛様をPRするもの。良寛記念館で放映する。

町有物件解体工事

384万円

宮下議員 地域住民ニーズを拾い上げながら活用を検討を行うように。

研修講師謝金

5万円

高桑議員 出雲崎中学校が道徳教育研究会で講師を招くが概要はどうか。また、道徳教育ということであり、地域住民を巻き込んで行う考えはないか。

教育課長 上越教育大学の先生を講師に研修を行う。

教育長 過去に地域住民が

参加して行ったかは把握していないが、道徳教育となると、家庭や地域も一緒に進めていくことが大事と考えている。

ふるさと就職支援商品券利用助成金
新生活スーパー住まい取得・リフォーム支援補助金

120万円
360万円

仙海議員 地方創生に関する事業だが一般財源で行われている。交付金で行うことはできないか。また、今後、継続して行くために過疎債で事業を行う考えはないか。

総務課長 地方創生事業は先進的な取り組みでないと交付金の対象になりづらい。今後は過疎債のソフト事業で行うものも出てくる可能性はある。

スキーリフト使用料

12万円

レンタルスキー使用料

15万円

中川議員 小学校でスキー授業が行われ、レンタルスキー、リフト券、インストラクターの料金が補助されるが、その他にもウェアやグローブ等にもお金が掛かる。保護者の負担が大きくなるように。

教育課長 スキー授業は4〜6年生を対象に行う。なるべく保護者の負担が大きくなるように検討する。



議会のうごき (主なもの)

平成28年7月〜9月

7・6 議会報特別委員会 (議会だより第92号)

12 議会報特別委員会 (議会だより第92号)

13 議会モニター委嘱状交付式 ↓ 詳細は p13

15 関川村議会総務厚生常任委員会来町

8・30 全議員研修会 (新潟市)

9・2 議会運営委員会

12・2 9月定例会招集日 ↓ 詳細は p6、7

13 議会報特別委員会 (議会だより第93号)

13 社会産業常任委員会

14 総務文教常任委員会

16 決算審査特別委員会

20 9月定例会2日目 (一般質問)

27 9月定例会最終日

27 第5回全員協議会

27 議会報特別委員会 (議会だより第93号)

27 議会運営委員会

全員協議会

主なものうちから抜粋して掲載しています

第5回 9月20日

●東京電力災害対策支援 拠点用地進捗状況 について

総務課長 大門地内の土地売買契約が終わり、これから隣接者との境界立ち会いを進める運びとなっている。関係各位に内容をお示ししたが、今のところ意見は寄せられていない。

●農業委員会制度改正 による新体制移行に ついて

産業観光課長 公職選挙から議会同意による町長選任制に改定となる。過半数については原則認定農業者とし、新たに現場活動を主に行う「土地利用最適化推進委員」を設置する。

諸橋議員 認定農業者に

限定すると女性の登用が難しくなるのではないか。
産業観光課長 女性の登用は積極的に考えている。やろうという方は受け入れたい。

●北スマートインター からのロードサイン 設置について

産業観光課長 議会から意見があつたので、場所を再確認して、9カ所設置をしたい。



仙海議員 「海まであと〇キロ」等のユニークな看板があると聞いている。町内に設置はしないのか。

産業観光課長 そういった考えはなかった。来年度以降検討したい。

●良寛記念館が 登録有形文化財に 登録について

教育課長 良寛記念館の展示棟・管理等・回廊が8月1日付けで国の登録



有形文化財に指定された。

●子育て支援センターと 多目的運動場を整備

総務課長 中央公民館前のテニスコート2面を廃止し、子育て支援センターと同時に用途を拡充した多目的運動場を整備したい。

子育て支援センターは早期療育機能を合わせ持ち、木造平屋建てのもの。多目的運動場は人工芝を貼り、テニスコート、フットサル等ができる施設を考えている。

三輪議員 今まであったトイレや入り口はどうなるか。ナイター設備はどうか。

高桑議員 多目的運動場は屋根付きのものを検討すべきではないか。

総務課長 現在、様々な条件や方向を検討中であり、これからとなる。

●新奨学金は返済支援型で

総務課長 学業を終え、本町に定住・就職することを条件に給付型奨学金の創設を予定していたが、返済支援型の制度としたい。これにより、日本学生支援機構奨学金等の利用者にも支援を拡大できる。

●ナカヤマ商店跡地活用を

諸橋議員 国道116号線沿いの跡地を出雲崎の物産を販売する建物にできないか。

町長 既に個人の方が取得されているが、町で活用できないかという話もある。費用対効果を考えて検討したい。

●梅酒乾杯条例を

加藤議員 ご当地ブランド釜谷梅支援事業で梅酒を作ることが計画されているが、当町で梅酒の消費拡大を考えると、乾杯条例を作ってはどうか。

町長 せっかく特産を作るのだから、皆さんの意見を聞いて検討していきたい。



●今年のまち恋について

総務課長 個人を対象とした婚活事業は、町内にポスターを設置して現在進めている。集団婚活事業について、今年の本町井鼻の「デイト」で12月始めに男女各10名ずつで開催したい。年齢対象は25歳から39歳まで。今回男性は、町内在住者に加えて結婚を機会に町内に戻りたいと考えている町外在住者も対象とした。

●病児病後児保育について

三輪議員 子育て支援を進めていくなかで、実際にお子さんが病気になる時、当町では預かってくれる場所がなく困っている。広域圏のなかで対応できないものか。

保健福祉課長 当町単独で施設を設けることは難しい。柏崎方面では、新潟病院が利用できる。数カ所ある長岡方面では、出雲崎町が負担金を出すことで利用できるか、新年度に向けて調整しているところである。

●指定管理者の経営に懸念はないか

加藤議員 シダックスのカラオケ店舗の大量閉店が報道されている。当町では天領の里を指定管理している企業だが、経営に懸念はないか。

町長 企業の経営戦略であり、指定管理には影響はないと考える。

●町内の道路周辺に

細やかな配慮を

加藤議員 三輪議員・中川議員 道路周辺の雑草が伸びていて景観上も良くなく、危険である。草刈りの時期に基準はあるか。また、側溝にも泥が堆積して住民の手におえないところがある。

建設課長 広範囲でもあり、手の回らない部分もあるが、分かった段階で処理をしていきたい。



●ポケモンGO人気で

対策が必要では

中川議員 天領の里は今、ポケモンGOの人気で賑わっているが、休日是一般の観光客が駐車できない等の不都合が生じている。土日は禁止する等の対策を講じるべきではないか。

町長 社会的な大きな問題だと考えている。どういった対応策があるのか、検討して行きたい。



議会の活性化

議会モニターの委嘱



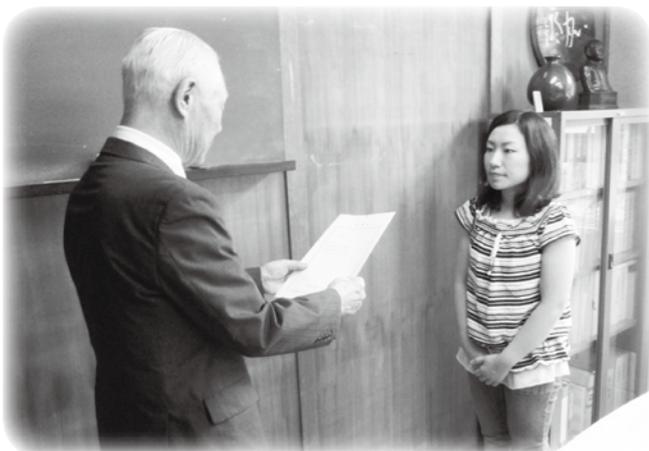
遠藤敬子さん 佐藤光代さん 島明日香さん 金子俊治さん
(藤巻) (尼瀬) (尼瀬) (川西)

「議会モニター」(2期目)の4名の方に7月13日、委嘱状が交付されました。

議会モニターの方々からは年4回の定例会や常任委員会などを傍聴していただき、議会運営などについて意見や感想を述べていただきます。

議会ではモニターの方々の意見を参考にして、今後の議会運営に活かし、活性化に努めてまいります。

モニターに関心のある方は事務局までご連絡ください。



町テニスコートの一部に 子育て支援センター建設

子育て支援センター建築工事調査設計に

527万円

多目的運動場整備工事測量に130万円補正

補正予算質疑

仙海議員 図面を見る限り多目的運動場の使い勝手が悪いように感じる。テニスコートと平行にする等して利用しやすくするべきではないか。

教育課長 図面は構想段階であり決定ではない。限られた敷地ではあるが、可能であればそう考えたい。

中川議員 テニスコートは何人利用しているか。

教育課長 平成27年度は650人が利用している。

中川議員 大掛かりでなくとも良いので屋根付きにするべきではないか。

教育課長 天井を高くしなければならぬ等、事業費が問題となってくる。

町長 提案は受け止めるが屋根付きにするにはしっかりとしたものではなくてはならない。



三輪議員 子育て支援センターの運営は町が行うのか。

保健福祉課長 町で直接運営する。将来的に担ってくれる団体ができれば委託も考えていきたい。

八手地区農村環境改善センターを**防**放射線施設に

工事請負契約の締結全会一致で可決

八手地区農村環境改善センター放射線防護対策（電気・機械設備）工事			
金額	1億2776万4000円	相手方	株式会社 宮下電設（長岡市）

高齢者へのサポート強化で 安心して暮らせる町に

一般質問

町長

地域のコミュニケーションを図る

町長 高齢者の一人世帯が400で、孤立化防止が喫緊の課題。町の施策と地域の見守りが大切

加藤 国の調査で、高齢者の独り暮らしの男性の内、会話が2週間で1回以下は6人に1人で、会話も無く孤独感と寂しさに苛まされている現状。高齢者の精神的ケアの考えはないか。

独居高齢者の精神的ケアを強化



加藤 修三 議員

お尋ねします お答えします



で、区長・民生委員などの協力を得ながら活動を進めていく。

認知症サポート強化

加藤 当町の高齢化率は40%位で、認知症発症率も高くなる。認知症知識の啓発、初期受診、見守りサポーターを養成し認知症本人、家族が安心して暮らせるためのサポート強化の考えはないか。

町長

認知症高齢者数は約250人で、早期発見、早期診断体制の構築、正しい知識の普及、介護医療サービスが連携し総合的な体制づくりが必要。認知症予防教室や訪問指導、サポーター養

成は中学生や他団体等800人で今後も年間1000人を目標にする。

福祉タクシー券増額でモチベーション向上

加藤 当町での生活は車やバイクが必要で、高齢者の免許返納は隣接市へ行くにも交通費負担が増え、結果、行動範囲も

天領の里広場利用について

町長

関係機関の意向を聞き対応

広場のマナー

加藤 天領の里駐車場でキャンプやバーベキューをして盗水や夜中に花火をし、帰りはゴミを捨てていく。この状況どう考えるか。

町長

直ちにキャンプ等の禁止はできないが、注意喚起の看板設置も考慮し、迷惑行為や地元住民に不快な状況が頻発すれば禁止にする。

狭くなる。外に出る機会をつくり、生活範囲の維持や利便性向上にタクシー券増額の考えはないか。

町長

町民の要望に沿って、他町村と比べ高いレベルで助成をしており、お金よりも相互扶助を大切にしたい。

夏場巡回の強化

加藤 夏、天領の里に来る人が多いが、マナーを守ってもらうためにも、パトロール強化の考えはないか。

町長

毎朝施設の点検、清掃を行っているが、夏場巡回についてはボランティア等の対応を検討したい。

みんなが生き生きと暮らせる 町づくりの実現のために ～地域包括ケアの推進状況は～



高桑 佳子 議員

町長

行政の地域支援と地域住民の 連携で進める

地域包括ケアシステムの しくみ作りは

高桑 団塊の世代が75歳以上となる2025年までに、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを続けることができるよう、「地域包括ケアシステム」の構築が推進されている。そのしくみづくりを当町ではどのように取り組んでいるか。

町長 当町でも一人暮らしの世帯や高齢者夫婦世帯が増加する中で、要介護者とその家族の希望が叶えられながら、平穏な療養生活が送られるよう、医療、介護等の地域支援と地域住民の連携のなかで進めることが重要と考えている。

昨年11月に「出雲崎町在宅医療推進協議会」を設置し、この協議会が中心となって本町の在宅医療を推進して行く。また、「生活支援体制整備事業」を平成30年度から実施し、介護予防の自立を図る。

生活支援コーディネーター、地域支え合い推進員を配備し、多様な取組のコーディネート役を担っていただく。その他、団体等が連携した協議会を設置して他職種が顔の見える環境のなかで、サービスマニカミを構築していく。

医療体制を補う対策は

高桑 医療ニーズと介護ニーズの連携が重要となってくるが、当町では医療体制が整っていない。当町で開業してくれる医師を、継続的に公募していく考えはないか。

町長 どの地域においても、以前とは医療機関の体制が変わってきており、その点周知が必要と考える。医師不足も深刻であるが、町としても開業して下さる方を諦めずに捜していきたい。

既存事業に認知症対策の 観点をもたせては

高桑 認知症予防対策

やサポーター養成等に事業が行われているが、「認知症」と構えずに、他の既存事業やこれからの事業に認知症対策の観点を付加することはどうか。予算や労力を掛けずに理解が深まるのではないか。

町長 予防対策が肝要と考える。十分に検討していきたい。

住民の自発的活動支援を

高桑 団塊の世代が後期高齢者になる、高齢者が増えるという話が頻繁に出てくるが、この方々こそが、これからの地域社会のあり方を担っていく、あるいは変えていくくれるのではないか。制度やシステムを構築

することも大切だが、最も大切なのは住民の自発的な活動を喚起したり支援したりしていくことと考える。「官」と「民」を比較すれば、「民」から立ち上がったものは強い。セクションを設ける等、こういった活動を支

援する場所が必要と考えるがどうか。

町長 定年を過ぎた町民の皆様が中心となって進めておられる各種団体、これを見ていると長寿時代を迎えた出雲崎町のひとつのありようではないかと考える。サロン事業のような場所づくりをもっと拡大していきたい。

特にセクションは設けなくても、どこでも相談して欲しい。どこでも対応するようにする。行政も自発的な活動を積極的に支援していく。



いきいきサロン事業



中野 勝正 議員

社会福祉の充実に向けて 第5次出雲崎町総合計画について伺う

町長

健康で安心して暮らせる 福祉のまちづくりを推し進める

現状と問題点 その対策は

中野 経済的困窮者や社会的ハンディキャップを持つ人たちに對して、地域が連携していく必要があるが、町長はどのように考えているか。

町長 私から見た場合、おおむね地域は連携している。さらに地域が連携してもらうように、行政としても取り組む。

施策は

中野 施策の方針で述べていることに対して、どのように指導していく考えか。

町長 優先順位をつけながら、行政が中心になり各種団体の協力をいただきたい。指導していきたい。

地域福祉について

中野 地域福祉に携わってくれている各種団体と、その指導者の育成に努めながら、さらに町ぐるみの取り組みが必要と思うが、行政としての考えは。

町長 各種団体の皆様からそれぞれ協力していただき、各種団体の横のつながりを推し進め、共通の認識の中で、町ぐるみで進めていく。

児童福祉について

中野 施策の方針の中で子育て支援拠点施設を整備すると述べているが内容は。

町長 議会最終日の全員協議会にて具体的に説明し議員各位から意見をいただきたい。

ひとり親福祉の施策は

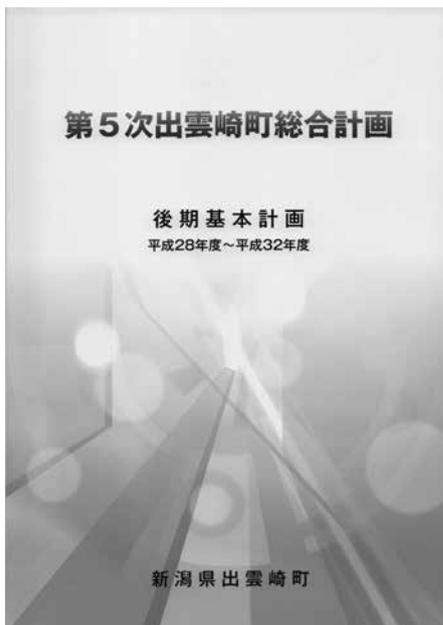
中野 児童を取り巻く環境をより一層向上させ地域ぐるみで健全育成に努めるとあるがその施策は。

町長 ひとり親家庭の自立を図るため、行政としてハローワークに相談したり、支援体制の充実や子育て、生活における不安の解消を図る。

障がい者(児)福祉について

中野 障がい児を持つ家庭に対する保育サービスを充実し、児童の健全育成を図ると述べているが具体的には。

町長 相談支援事業の充実を図り、困っていることを明確に把握し、地域社会で自立して日常生活が過ごせるよう、きめ細やかなサービスを行う。



第5次総合計画 (後期)

出雲崎の観光の 振興について

～観光推進会議創設を～



三輪 正 議員

町長

現状を総括して 今後、検討する。

**当町の観光の現状と
問題点は何か**

「三輪」 「観光立町」を目指しての船まつり、きずな、街歩きなど多彩なイベントの実施や妻入りの街並みの整備、観光施設の整備について力を注いでいるが、その成果と問題について伺う。

「町長」 近年の観光は個性化、多様化しており、範囲も広域化、活発化している。観光客は24年をピークに若干減少している。全町民が地域外の人を暖かく迎ええる体制が必要と考える。
また、長岡や柏崎との広域連携等の整備を必要と感じている。

**当町の今後の
観光振興について**

「三輪」 当町は、他の市町村がうらやむような非常に歴史、文化に富んだ



ボランティアガイドと歩く妻入りの街並み

町である。

特に今年には出雲崎が天領になって「400年」の節目の年となつてい

る。11月13日には「金の道イベント」が天領の里を会場に開催され、佐渡金銀山の世界遺産登録運動も活発に活動が行われている。

天領の地、良寛生誕の地、石油産業発祥の地、金の道北国街道起点の地であり、今まで以上にこの資源を活かした観光振

興が必要と考える。

「町長」 入り込み客を増やすためにはイベントをやつていかなければならない。当町固有の資源である妻入りの街並み、佐渡金銀荷揚げの地など歴史、文化に磨きをかけ、他市町村と観光資源を共有しながら、ルートの開発等進める。また、良寛さんの「日本遺産登録」を目指していきたい。

観光推進会議の創設を

「三輪」 観光関係の団体・施設・行政の連携が非常に大切で、関係機関が参加した会議を創設し、当町の観光の目指す方向、情報の共有を図ることは大変重要と考えるが、町長の考えは。

「町長」 観光推進会議創設については現在各種機会を行つており、以前に

も協議会をつくり意見交換や協議を行つてきたが、成果は上がらなかった。その原因を総括しながら今後検討していく。



にいがた景勝百選の地から街並みを望む



田中政孝議員が新潟県町村議会議長会より自治功労者表彰を受けました。町議会議員として20年以上在職し功労があったことによる表彰で、9月定例会において伝達式を行いました。

田中議員 20年表彰

皆様の声をお聞かせください

出まえ議会を開催します

どの会場でも自由に参加できますので多くの皆様のご来場をお待ちしています

開催日	会場	時間	担当
11月 7日 (月)	川西公会堂	午後7時00分～	総務文教常任委員会
11月 8日 (火)	八手地区農環センター	午後7時00分～	社会産業常任委員会
11月 9日 (水)	海岸公民館	午後7時00分～	社会産業常任委員会
11月10日 (木)	西越地区農環センター	午後7時00分～	総務文教常任委員会



お問い合わせ 町議会事務局 電話78-3112 (直通)

家庭・地域社会、それぞれ子どもたちを取り巻く環境が著しく変化している。学校と家庭・地域を結び「かけはし」としてPTAの期待は高くなっている。

PTA役員として活動している中、「バルーンアート」と出会い、初めてのことに挑戦したことで学んだこと、伝えたいことがある。風船は割れた分だけうまく

くなるということ。それは失敗から学び、更に糧にする経験を積めるということ。「あきらめない心」が身につく。

風船に正解はないということ。作り方、色の選択、見せ方など自由。それは個性を認められることもあり、自分で道を切り開いていく挑戦でもある。

そして物事を「できるか、できないか」ではなく「やるか、

やらないか」で決められるようになる。

ウィリアムズ・ジェームズの名言に次の言葉がある。

「心が変われば態度が変わる。態度が変われば行動が変わる。行動が変われば人格が変わる。人格が変われば運命が変わる。運命が変われば人生が変わる」

バルーンアートには「心」を変える力がある。小さな感動の積み重ねが人を動かし、人が動けば世界が変わる。

風船を通して学んだ心を学校、家庭、地域へ発信し、PTA活動に活かしていきたいと思う。

町民の声

「心」を変える力

小木 南波 久敏

表紙の小話



9月末からのぐずついた空模様からすると、奇跡的とも思える爽やかな秋晴れに、丸一日恵まれた今年のきずなIX。入場者数は町内外からおよそ2万8千人と、大変な賑わいでした。

私は同日午前中に開催された町民ウォーキングに参加しました。妻入りの街並みを、井鼻で折り返す8kmの最長コースを、汐風を感じながら楽しく歩きました。

天領の里広場では、「よさこい」を皮切りに楽しいショーが繰り広げられ、グルメ屋台で喉を潤しお腹を満たし、澄み切った青空の下、会場いっぱい明るい笑顔があふれていました。

(高桑佳子)

編集後記

議会だより93号、ご覧いただきありがとうございます。いかがでしたでしょうか。

現在の議会広報委員での発行は14回目となりました。各委員が担当するページにはそれぞれの思い入れがあり、読みやすく伝わりやすくなるようにと努力しています。

今年、議会だより編集の研修会に参加した際、各町村の議会だよりを毎号見ておられる方が、「出雲崎、良くなったね。読みやすくなった。」と嬉しい言葉をいただきました。

議会だよりは、町民の皆様への暮らしに直結する情報が満載です。お読みいただいたご感想やご意見をお寄せいただくと大変に嬉しいです。これからの発行に活かさせていただきます。

(高桑佳子)

議会報特別委員会

委員長 高桑佳子
副委員長 加藤修三
委員 仙海直樹
委員 三輪正